



FC岐阜

株式会社岐阜フットボールクラブ

代表取締役社長 宮田博之 氏

## 2021シーズンの開幕 安間貴義監督の紹介

年初からコロナ禍の鎮静化に向けて、国と各県が連携し最大限の英知を結集して様々な方策を実施しつつ緊急事態宣言を発したお蔭で、全国的協力体制への理解が深まっていると思います。また、コロナワクチンの接種開始と共に徐々に鎮静化することを期待していますが、今シーズンも皆様と一緒にコロナ禍体制をしっかりと守って、安全安心のスタジアム運営の元で、念願のJ2昇格を勝ち取るように一丸で頑張ります。



写真：©Kaz Photography/FC Gifu

あん ま た か よし  
安間貴義 監督

さて、監督にはJFLやJ3、J2、J1などJリーグのすべてのリーグで監督として戦ってきた幅広い経験の安間監督を招聘しました。出身地浜松ではHondaFCで10年の選手生活と3年の監督歴、甲府で初めてJリーグのヴァンフォーレ甲府のコーチ、監督を5年、創設したばかりのカターレ富山ではコーチ、監督で5年、FC東京ではU23の監督、トップチームのコーチ、監督、コーチで6年、そして今年1月4日にはJリーグのルヴァンカップでFC東京の長谷川健太監督と共にヘッドコーチとして柏レイソルを破って優勝を決めて、FC岐阜入りを発表しました。

彼の宝は、私と同じく多くの人に接して、その経験を良しも悪しきも財産と認識して、自分流を求め続けているところでしょう。予てより常に右肩上がりの経済社会下ではルールも価値観も右肩上がりの結果だけが尊重されてきましたが、これからの多様化した社会では多様なプロセスから導かれる多様な価値を指導できることも指導者に求められることでしょう。

多くの監督の下で様々な指導方法を経験してきた中から、自分流『指導者として興味を持って放っておく。選手が困ったり悩んだりした時に、相談に乗ったり、自分で気づかないところを見せて教える』のが安間流。昨シーズンから、選手がケガをしないよう倒れない倒されないようにフィジカルコーチを採用して強化したお蔭で怪我が少なくなったことを喜んだら、練習の強度が足りないだけで、もっと各自に必要な練習を自覚させて強度を上げて丈夫な体づくりに励ませると、予てからの選手達の練習量不足ではないかとの疑問に明快な答えが返って来て安心しました。

今シーズンのレベルの高い選手たちが更に切磋琢磨して激しい内部競争を乗り越えて逞しく成長し、全員の躍動とチームの脱皮に大きな期待を持っています。安間監督の信条は『Aggressive』、今シーズンのスローガンは『躍動—Aggressive』です。どうか、今シーズンも大勢の皆様には選手たちの活躍を見て応援頂きたくよろしくお願いたします。

また42市町村のホームタウンの皆様やサンクスマッチ企業の皆様による多彩な応援イベントに加え、様々なオリジナルイベントやスタジアムグルメなど週末は長良川メモリアルスタジアムでゆっくりお楽しみください。



2021シーズンの  
J3リーグ試合日程は  
こちらをご確認ください